

国語（第2学年）

【教科目標】

- 1 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- 2 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	広がる学びへ	見えないだけ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ・ 詩にこめられたものの見方を捉える。 	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	1学期期末考査 提出物 授業
		アイスプラネット	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人物の設定の仕方を捉え、表現や構成の工夫とその効果について考える。 ・ 作品を読んで考えたことを共有し、自分の考えを広げたり深めたりする。 		
		[聞く] 意見を聞き、整理して検討する	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見と根拠を表で整理し、適切に自分の意見を伝える。 ・ 相手の意見を聞いて自分の考えを広げたり深めたりする。 		
5		文法への扉 1 単語をどう分ける?	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立語の種類と活用を考える。 	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	1学期期末考査 提出物 授業
		魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に分かりやすく伝えるために必要なことを考える。 ・ 自分の意見を伝えるために提示資料を考える。 		
		枕草子	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然や人間に対する、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・ 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。 		
6	多様な	クマゼミ増加の原因を探る	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・ 主張と例示との関係に着目して読 	活動の観察 ワークシ	1学期期末考査 提出物

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	視点から	<p>情報整理のレッスン 思考の視覚化</p> <p>情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る</p> <p>漢字 1 熟語の構成 漢字に親しもう 2</p> <p>短歌に親しむ 短歌を味わう</p> <p>言葉の力</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>5</p> <p>2</p>	<p>み,内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文を読み、情報の関係を整理して、視覚的に表す方法を理解する。 ・内容が正しくわかりやすく伝わるように、読み手の立場に立って読み返し、文章を整える。 ・言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読み・書きについて理解を深める。 <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌のリズムや表現方法などの特徴をもとに、短歌についての理解を深める。 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えについて話し合い、自分の考えを深める。 	<p>ト</p> <p>発言</p> <p>作品</p> <p>確認テスト</p> <p>定期考査</p>	<p>授業</p>
7	言葉と向き合う 情報×SDGs	<p>言葉 1 類義語・対義語・多義語</p> <p>語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉</p> <p>メディアの特徴を生かして情報を集めよう／デジタル市民として生きる</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を読み、類義語・対義語・多義語について理解し、語彙を広げる。 ・抽象的な概念を表す言葉を探して類義語や対義語と比べて理解する。 ・情報メディアの特徴を捉え、目的や状況に応じた情報収集の仕方を理解する。 ・情報の信頼性を判断するポイントを理解し、情報を受け取るときや発信するときの留意点を考える。 	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート</p> <p>発言</p> <p>作品</p> <p>確認テスト</p> <p>定期考査</p>	<p>2学期中間考査</p> <p>提出物</p> <p>授業</p>

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
		読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま コラム「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	1 1	・読んだ本を紹介したり感想を伝えあったりすることにより、読書に対する意欲・関心を高める。 ・翻訳作品を読み比べ、翻訳の違いによる印象の違いに気づき、翻訳作品に親しむ。		
9	人間のきずな	ヒューマノイド 字のない葉書 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く [推敲]表現の効果を考える 言葉 2 敬語 聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	4 3 3 1 1 2	・場面の展開に注意して、人物の設定を捉える。 ・過去と現在を結び付けて、登場人物の言動を解釈する。 ・作品を読んで考えたことを語りあう。 ・表現に着目して、人物の人柄や心情を読み取る。 ・伝える相手や目的、内容を決め、それに応じた通信手段で相手に伝える。 ・表現の効果に着目して文章を推敲する。 ・教材分を読み敬語の働きや種類を理解し、適切な使い方について考える。 ・的確なインタビューで相手の思いや考えを引き出す。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	2学期中間 考査 提出物 授業

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
		漢字 2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう 3	1	・常用漢字の読み・書きについて理解を深める。		
10	論理を捉えて いにしえの心を訪ねる	モアイは語る—地球の未来	5	・全文を通読し、本文を序論・本論・結論に分ける。 ・筆者の論理の展開を吟味する。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	2学期期末考査 提出物 授業
		思考のレッスン 1 根拠の吟味	1	・「根拠として示されている事実やデータなどの客観性や信頼性」「複数の事実や統計によること」などの観点を持つ。		
		適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	5	・社会生活の中から課題を決め、調べる。 ・意見を支える適切な根拠と「理由づけ」を考え、構成を決める。		
		聴きひたる 月夜の浜辺	1	・詩の中の語句や表現の工夫に着目して詩を味わい、詩の世界を豊かに想像する。		
		音読を楽しむ 平家物語 「平家物語」の世界／ 「平家物語」の主な登場人物たち	1	・漢冒頭部分を朗読して、漢語を巧みに交えた独特の調子とリズムを味わう。資料を読み、「平家物語」の概要を理解する。		
11	価値を語る	扇の的—「平家物語」から	3	・朗読を通して古典の世界に親しんでいる。 ・登場人物の言動から心情を考える。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	2学期期末考査 提出物 授業
		仁和寺にある法師— 「徒然草」から 係り結び	3	・現代語訳や注を手掛かりにして読み文章の内容を捉える。 ・登場人物の特徴を捉えて、文章にまとめる。		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
		<p>[書く]人物の特徴を捉えて論じよう 漢詩の風景 律詩について</p> <p>君は「最後の晚餐」を知っているか</p> <p>「最後の晚餐」の新しさ 思考のレッスン 2 具体と抽象</p>	<p>3</p> <p>5</p> <p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読し、漢詩に描かれた情景や心情を読み取る。 それぞれの漢詩の構成や表現の効果を味わう。 表などを用いて、情報を整理する。 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。 		
12	いつも本はそばに	<p>[話し合い(進行)]話し合いの流れを整理しよう</p> <p>文法への扉 2 走る。走らない。走ろうよ。</p> <p>文法 2 用言の活用</p> <p>立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる。</p> <p>漢字に親しもう 4</p> <p>「自分らしさ」を認め合う社会へ 父と話せば／六千回の</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの流れを整理するために必要なことを話し合い、考えをまとめる。 教材分を読み、動詞の形の変化について考え、動詞の活用について理解する。 形容詞及び形容動詞の活用について理解する。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。 ・グループで討論し、振り返りや気づきを報告しあう。 常用漢字の読み・書きについて理解を深める。 二つの文章を、自分の知識や経験と結び付けて読み、感想を伝え合う。 	<p>活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査</p>	<p>3学期学年末考査 提出物 授業</p>

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
		トライの先に 読書案内 本の世界を 広げよう		・本には,さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り,自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。		
1	視野を広げる	走れメロス [書く]作品の魅力をまとめ、語り合おう	8	・人物の言動の意味を考え,人物像とその変化を捉える。 ・工夫された表現に着目して,文体の特徴を捉えて読み味わう。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	3学期学年末考査 提出物 授業
		漢字に親しもう5 文法への扉 3 一字違いで大違い	2	・助動詞について、意味・用法を理解する。 ・助詞について、意味・用法を理解する。		
2	表現を見つめる	描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く	5	・自分の思いが伝わるように文章を工夫する。 ・日常生活を振り返り、題材を決定する。	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト 定期考査	3学期学年末考査 提出物 授業
		言葉 3 話し言葉と書き言葉	2	・話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。		
	学びを深める	漢字 3 送り仮名 国語の学びを振り返ろう	2	・送り仮名のつけ方の原則と例外を理解する。		
		「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る	4	・一年の学習を振り返り、「国語を学ぶ意義」について考える。 ・対話の際に、互いの考えを尊重しながら、さらに考えを深めるために、どのような点を心がけたか、自分の言葉でまとめる		
		鍵	2	・詩の朗読を通して、語句や表現を味わい語彙を深める。		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
				・作者の者の見方について話し合い、自分の考えを深める。		
3		国語の力試し	5	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間で学んだ資質・能力を確認する。 ・自分の身に着けた能力を振り返りさらに深める。 	活動の観察 ワークシート 発言 作品 確認テスト	提出物 授業
合計時数【 140 】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法(評価資料)	
知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	ワークシート 確認テスト 定期考査
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関りの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	ワークシート 発言・作品 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	活動の観察 発言 作品

社会（第2学年）

【教科目標】

広い視野に立って社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4 ・ 5	【歴史】 中世の日本と世界 近世の日本と世界 近世の日本と世界	一揆・応仁の乱・戦国大名・室町文化 ルネサンス・大航海時代・戦国・安土桃山時代 江戸幕府の成立と幕藩体制 鎖国 身分制度	3 7 5	・民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 ・近世の日本が世界の歴史の影響を受けて大きく変化したことを捉える。 ・天下統一の経緯や政策について理解する。 ・江戸幕府の成立としくみについて理解する。 ・民衆のくらしの様子について捉える。	ワークシート 定期考査 ドリルの取り組み 小テスト 単元振り返りシート	授業 1学期 期末考査 提出物
6 ・ 7	【地理】 身近な地域の調査 日本の地域的特色 日本の地域的特色	地域調査 日本の地形・気候・自然災害・人口・資源・エネルギー・産業・交通網・通信網・地域区分 九州地方	4 12 5	・身近な地域の調査を通じて自らが住んでいる地域の特色を理解する。 ・日本の地域的特色を、地形・自然災害・人口・エネルギー・産業・交通網・通信網・地域区分の視点から捉える。 ・自然環境を中核として、九州地方の地域的特色を捉え、考察の仕方を身に付ける。	ワークシート 定期考査 ドリルの取り組み 小テスト 単元振り返りシート	授業 1学期 期末考査 2学期 中間考査 提出物
9		中国・四国地方	5	・交通や通信を中核として、中国・四国地方の地域的特色を捉え、考察の	ワークシート 定期考査 ドリルの取り	授業 2学期 中間考査

		近畿地方	5	<p>仕方を身に付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境を中核として、近畿地方の地域的特色を捉え、考察の仕方を身に付ける。 	<p>組み 小テスト 単元振り返りシート</p>	提出物
10	日本の地域的特色	中部地方	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業を中核として、中部地方の地域的特色を捉え、考察の仕方を身に付ける。 	<p>ワークシート 定期考査 ドリルの取り組み 小テスト 単元振り返りシート</p>	授業 2学期 期末考査 提出物
		関東地方	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口や都市・村落を中核として、関東地方の地域的特色を捉え、考察の仕方を身に付ける。 		
11	日本の地域的特色	東北地方	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人々の生活や文化（その他の事象）を中核として、東北地方の地域的特色を捉え、考察の仕方を身に付ける。 	<p>ワークシート 定期考査 ドリルの取り組み 小テスト 単元振り返りシート</p>	授業 2学期 期末考査 提出物
		北海道地方	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境を中核として、北海道地方の地域的特色を捉え、考察の仕方を身に付ける。 		
12	地域の在り方	持続可能な社会に向けての課題解決	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の追究を通して、持続可能な視点を基にしてよりよい地域を構想する。 	<p>ワークシート 定期考査 ドリルの取り組み 小テスト 単元振り返りシート</p>	授業 3学期学 年末考査 提出物
		<p>経済の発達 元禄文化 百姓一揆 享保・寛政の改革 化政文化</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ くり返された改革について理解する。 ・ 江戸時代の学習を通じて、なぜ幕府が長く続いたのかを考察する。 		

1	近代の日本と世界	絶対王政 市民革命 産業革命と資本主義 アヘン戦争	5	・ 開国から江戸幕府滅亡までの過程を，欧米諸国の動きと関連させて理解する。 ・ 開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的に考える。	ワークシート 定期考査 ドリルの取り組み 小テスト 単元振り返りシート	授業 3学期学年末考査提出物
		開国と幕府政治の終わり 明治維新 立憲政治	8	・ 明治維新のあらましを諸改革の内容を通して理解させ，短期間に近代国家の基礎が整えられていったことへの政府や人々の努力や生活の変化について多面的・多角的に捉える。		
2	近代の日本と世界	条約改正 日清・日露戦争 韓国併合	8	・ 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まると共に我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。	ワークシート 定期考査 ドリルの取り組み 小テスト 単元振り返りシート	授業 3学期学年末考査提出物
3		近代の産業と文化の発展	4	・ 産業革命と国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展についてとらえ、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。	ワークシート ドリルの取り組み 小テスト 単元振り返りシート	授業 提出物
合計時数【105】						
※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査、ワークシート、小テストなど
思考・判断・表現	定期考査、まとめプリント、レポート、ワークシートの取組など
主体的に学習に取り組む態度	授業、提出物、学習支援ソフトの取組、単元振り返りシートなど

数学（第2学年）

【教科目標】

1	文字を用いた式と連立2元1次方程式，平面図形と数学的な推論，1次関数，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を抽象化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
2	文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力，数学的な推論の過程に着目し，図形の性質や関係を論理的に考察する力，複数の集団のデータの分布に着目し，その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
3	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4 5	1章 式の計算	1 式の計算 2 文字式の利用 章の問題	16	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な多項式の加法，減法及び多項式と数や単項式同士の乗法，除法の計算ができる。 文字式を利用して数量の関係や数の性質を説明することができる。 目的に応じて，等式を変形することができる。 	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 1学期期 末考査 など
6 7	2章 連立方程 式	1 連立方程式 とその解き方 2 連立方程式 の利用 章の問題	17	<ul style="list-style-type: none"> 二元一次方程式とその解の意味及び連立方程式とその解の意味を理解する。 加減法や代入法によって，連立方程式を解くことができる。 連立方程式を利用して問題を解決することができる。 	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 1学期期 末考査 2学期中 間考査 など
9 10	3章 1次関数	1 1次関数 2 一次関数の 性質と調べ方 3 2元1次方 程式と1次関 数 4 1次関数の 利用 章の問題	19	<ul style="list-style-type: none"> 一次関数の意味を理解し，事象の中から一次関数を見いだすことができる。 一次関数について，表，式，グラフを相互に関連づけて理解する。 二元一次方程式のグラフ及び連立方程式の解とグラフの関係を理解する。 一次関数を用いて問題を解決することができる。 	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 2学期中 間考査 など

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
10 11	4章 図形の調 べ方	1 説明のしく み 2 平行線と角 3 合同な図形 章の問題	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形の内角・外角の性質を理解し、多角形の内角・外角の和を求めることができる。 ・ 対頂角の性質や平行線と角の関係を理解する。 ・ 三角形の合同条件を理解し、簡単な図形の性質を証明することができる。 	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 2学期期 末考査 など
12 1 2	5章 三角形と 四角形	1 三角形 2 平行四辺形 章の問題	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二等辺三角形の性質を証明することができる。 ・ 直角三角形の合同条件を導き、それを使って証明することができる。 ・ 平行四辺形の性質や条件を理解し、それを使って図形の性質を証明することができる。 ・ 平行線と面積の関係を理解する。 	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物 3学期学 年末考査 など
2 3	6章 確率	1 確率 2 確率による 説明 章の問題	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同様に確からしいことをもとにして、簡単な場合について確率を求めることができる。 ・ 樹形図や表を利用して様々な場合の確率を求めることができる 	授業の様子 提出物 小テスト 定期考査	授業 提出物
3	7章 データの 比較	1 四分位範囲 と箱ひげ図 章末問題	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四分位数と四分位範囲について理解し、四分位範囲とちらばりの関係を見いだすことができる ・ 箱ひげ図のつくり方と見方を理解し、ちらばりやヒストグラムとの関係を見いだすことができる ・ 箱ひげ図を用いてデータの傾向を考察することができる。 	授業の様子 提出物 小テスト	授業 提出物
<p>合計時数【105】</p> <p>※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。</p>						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	定期考査，小テスト
思考・判断・表現	定期考査，小テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業の様子，提出物

理科 I (第2学年)

【教科目標】

自然の事物・現象に進んで関わり、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てると共に自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	化学変化と原子・分子	物質のなり立ち	8	・ 物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見出すとともに、物質は原子・分子からできていることを理解し、原子は記号で表わされることを学び、これらの事象を日常生活と関連付けて考察しようとする意欲と態度を養う。	授業観察 実験・観察 学習プリントのチェック 定期考査 小テスト等	授業 観察・実験 提出物 1学期期末考査 2学期中間考査
5	物質どうしの化学変化	物質どうしの化学変化	8	・ 2種類の物質を化合させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見出すとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表せること、及び化学変化は化学反応式で表されることを理解する。		
		酸素がかかわる化学変化	6	・ 酸化や還元の実験を行い、酸化や還元が酸素の関係する反応であることを見出させ、これらの事象を日常生活と関連付けて科学的な見方や考え方を養う。		
6	化学変化と物質と質量	化学変化と物質と質量	8	・ 化学変化の前後における物質の質量を測定する実験結果から、反応の前後では物質の質量の総和が等しいこと、及び反応する質量の間には一定の関係があることを見出し、これらの事象を日常生活と関連付けて科学的な見方や考え方を養う。		
7		化学変化とその利用	5	・ 化学変化によって熱を取り出す実験の結果から、化学変化には熱の出入りが伴う事を見出させ		

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
				ると共に、これらの事象を日常生活と関連付けて科学的な見方や考え方を養う。		

9 10 11	生物のからだのつくりとはたらき	生物と細胞	8	<ul style="list-style-type: none"> 生物の組織などの観察を行い、生物のからだは細胞からできていること、そして植物と動物の細胞のつくりの特徴を見出し、理解する。 	授業観察 実験・観察 学習プリント ノート チェック 定期考査	授業観察・実験 提出物 小テスト 2学期中間考査 2学期期末考査 3学期学年末考査
	植物のからだのつくりとはたらき		10	<ul style="list-style-type: none"> 植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 からだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。 植物のからだのつくりとはたらきに関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようになる。 		
	動物のからだのつくりとはたらき		11	<ul style="list-style-type: none"> 消化や呼吸、血液循環についての観察・実験を行い、動物のからだには、必要な物質を取り入れて運搬し、不要な物質を排出する仕組みがあることを、各器官のつくりと関連付けて理解できるようにする。 動物が外界からの刺激に反応している様子を観察し、刺激を受 		

12			<p>け取って反応が起こるまでの仕組みや、実際に体を動かす仕組みを観察の結果と関連付けて理解できるようにする。</p>		
	刺激と反応	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 ・ 刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物のからだのつくりとはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。 ・ 刺激と反応に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。 		

I	電気の世界	静電気と電流	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静電気によって起こる身近な現象から、異なる物体同士をこすり合わせると静電気が起こり、帯電した物体間で空間を隔てて力が働くこと、及び静電気と電流が電子の流れであることを理解するとともに、日常生活と関連付けて科学的に考察しようとする意欲と態度を養う。 ・ 放射線の性質と利用についての理解を深める。 	授業観察 実験・観察 学習プリントチェック 定期考査 小テスト等	授業 観察・実験 提出物 3学期学年 末考査
		電流の性質	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電流回路をつくり、電流計や電圧計、電源装置などの操作技能を習得しながら、回路の電流や、電圧を測定する実験を行い、各点に流れる電流や、各部の電圧に規則性を見出す。 		

2			<ul style="list-style-type: none"> 電流によって熱や光などを発生させる実験を行い、電流から熱や光などが取り出せること、及び電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを見出し、日常生活と関連付けて科学的に考察しようとする意欲と態度を養う。 		
	3	電流と磁界	14	<ul style="list-style-type: none"> 磁石や電流による磁界の観察を行い、磁界を磁力線で表すことを理解し、コイルのまわりに磁石ができることを学ぶ。 磁石とコイルを用いた実験を行い、磁界中のコイルに電流を流すと力が働くこと、及びコイルや磁石を動かすことによって電流が得られることを見出すとともに、直流と交流の違いを理解する。これらのことを日常生活と関連付けて科学的に考察しようとする意欲と態度を養う。 	
<p>合計時数【105】</p> <p>※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。</p>					

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	授業観察、実験・観察レポート、定期テスト、小テスト
思考・判断・表現	授業観察、実験・観察レポート、発表、定期テスト、小テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業観察、学習整理の取組、発表態度・内容、提出物の内容、授業ワークシートの取組

理科Ⅱ（第2学年）

【教科目標】

自然の事物・現象に進んで関わり、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てると共に自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	天気とその変化	気象の観測と雲のでき方	15	・ 校庭などで直接、気象観測を行うことを通して、日常生活で何気なく見過ごしている様々な気象現象の中に規則性があることに気付き、気象現象に対する興味・関心を高める。	授業観察 実験・観察 学習プリントのチェック 定期考査 小テスト等	授業 観察・実験 提出物 1学期期末考査 2学期中間考査
5				・ 観測方法や記録の仕方を身に付けるとともに、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、風向などの各気象要素の変化の関係を見出す。		
6				・ 窓や鏡、コップの結露などの日常的な現象の観察や露点の測定実験を行い、水蒸気の凝結現象について理解する。		
7				・ 気圧の高度による変化について理解し、減圧実験などにより水蒸気が水滴に変化することを体験からとらえる。雲ができるときの気圧、気温および湿度の変化を相互に関連付けて理解する。		
9	10	前線とそのまわりの天気の変化	8	・ 前線通過の際の気温、湿度、気圧、風向、天気の変化、雲の種類などの観測結果に基づいて、前線の通過を暖気と寒気の動きに関連付けて捉える。	授業観察 実験・観察 学習プリントのチェック 定期考査 小テスト	授業 観察・実験 提出物 2学期期末考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
11 12				<ul style="list-style-type: none"> ・ 前線の構造について、観測の結果や実際の降雨の様子、気温の変化、風向の変化などの経験に関連付けて捉える。 ・ 構造から前線にはいくつかの種類があることを理解する。 	等	
1 2 3		大気の動きと日本の天気	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本付近の大気の動きを一定期間の天気図や、気象衛星画像の変化、上空の風向などの観測データなどを用いて、日本の気象との関連を考察する。 ・ 偏西風の存在に気付き、地球を取り巻く大気の厚さについても理解する。 ・ 日本の天気に影響を与える気団の性質から、四季の天気の特徴を考察する。 ・ 日本の天気は大陸の影響を受けながらも海洋の影響を大きく受けていることを理解する。 ・ 自然がもたらす恩恵や災害について調べ、自然と人間の関わり方について考察する。 	授業観察 実験・観察 学習プリントのチェック 定期考査 小テスト 等	授業 観察・実験 提出物 3学期学年 末考査
<p>合計時数【35】</p> <p>※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。</p>						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法 (評価資料)
知識・技能	実験・観察レポート、定期考査、小テスト
思考・判断・表現	実験・観察レポート、発表、定期考査、小テスト
主体的に学習に取り組む態度	授業観察、学習整理の取組、発表態度・内容、提出物の内容、授業ワークシート取組

音楽（第2学年）

【教科目標】

- 1 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- 2 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- 3 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	歌唱	「時の旅人」 「夏の思い出」	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱する。 ・ 曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱する。 	ワークシート 演奏聴取 定期考査	提出物 授業 1 学期 期末考査 2 学期 中間考査 など
		鑑賞	オペラ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ オペラに親しみ、その音楽を味わいながら鑑賞する。 	
6	歌唱	歌舞伎「勧進帳」	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の伝統芸能に親しみ、そのよさを味わう。 	ワークシート 演奏聴取 定期考査	
		歌唱	「荒城の月」	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情景を思い浮かべながら、言葉を大切にしながら歌う。リズム譜を創作し、手拍子などで演奏する。 	
7	歌唱	課題曲、自由曲	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。 	ワークシート 演奏聴取 定期考査	
		歌唱	課題曲、自由曲 「フーガ」	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。 ・ 旋律の重なりを感じ取って、根拠をもって批評するなどして、よさや美しさを味わう。 	
9 10	歌唱 ・ 鑑賞	課題曲、自由曲 「フーガ」	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。 ・ 旋律の重なりを感じ取って、根拠をもって批評するなどして、よさや美しさを味わう。 	ワークシート 演奏聴取 定期考査	提出物 授業 2 学期 期末考査 3 学期 学年末考査 など

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	鑑賞	交響曲第5番「運命」	2	・ 旋律の重なりを感じ取って、根拠をもって批評するなどして、よさや美しさを味わう。	ワークシート 観察 定期考査	
11 12	器楽	箏「荒城の月」	5	・ 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏する。	ワークシート 観察 演奏聴取 定期考査	
1 2 3	鑑賞 創作 歌唱	ギター DTM 全校合唱	3 3 2	・ 器楽の知識や技能を身につけながら表現を工夫する。 ・ 構成を工夫して、曲をつくる。 ・ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。	ワークシート 観察 演奏聴取 定期考査 ワークシート 演奏聴取 定期考査 ワークシート 演奏聴取	
<p>合計時数【35】</p> <p>※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。</p>						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法 (評価資料)
知識・技能	定期考査、演奏聴取 (実技テスト)、観察
思考・判断・表現	ワークシート、観察
主体的に学習に取り組む態度	ワーク、ワークシート、観察

美術（第2学年）

【教科目標】

- 1 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
- 2 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。
- 3 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	鑑賞	オリエンテーション 鳥獣戯画 鑑賞	2	・日本の美術や伝統と文化に対する理解を深め、作品のよさや美しさを味わう。	授業中の観察 ワークシート	授業 教科書や資料の活用
5	デザイン	ブックカバーデザイン 絵画・デザイン	7	・イメージを効果的に伝えるために、文字の配置や色、イラストレーションなどを組み合わせて効果的に表現する。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 制作の様子 教科書や資料の活用 1学期期末考査
6						
7	デザイン	選挙ポスター 絵画・デザイン (夏休み課題)	4	・イメージを効果的に伝えるために、文字の配置や色、イラストレーションなどを組み合わせて効果的に表現する。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 制作の様子 教科書や資料の活用 2学期期末考査
9						
10	立体	瞬間の美しさを 形に 立体・ねんど	10	・躍動感を表現するために材料の特性を理解し、意図に合う表現方法を工夫するとともに、制作の順序を総合的に考えながら、見通しをもって表現する。	授業中の観察 ワークシート 作品 定期考査	授業 制作の様子 教科書や資料の活用 3学期学年末考査
11						
12	鑑賞	浮世絵はすごい 鑑賞	2	・諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高める。	授業中の観察 ワークシート 作品	授業 教科書や資料の活用
1						
2	鑑賞	浮世絵はすごい 鑑賞	2	・諸外国の美術や文化との相違と共通性に気付き、美術を通じた国際理解を深め、美術文化の継承と創造への関心を高める。	授業中の観察 ワークシート 作品	授業 教科書や資料の活用
3						

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
	絵画	視点の冒険	10	・ 用具を正しく使い、美的感覚を働かせて、形や色彩、図柄、材料、光などの組合せを簡潔にしたり総合化したりするなどして構成や装飾を考え、表現する。	授業中の観察 ワークシート 作品	授業 制作の様子 教科書や資料の活用
<p>合計時数【35】</p> <p>※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。</p>						

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法 (評価資料)
知識・技能	作品、定期考査
思考・判断・表現	アイディアスケッチ、プリント、作品、定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業態度、遅刻、忘れ物、提出物、定期考査

保健体育（第2学年）

【教科目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 1 各種の運動の特性に応じた技能及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- 2 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 3 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【学習計画】

月	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	オリエンテーション	1	・ 授業の進め方、評価の仕方等を確認し、理解する。	授業観察 ノート	授業内・授業後の振り返り 提出物の提出 グループ活動 1学期期末考査
	体づくり運動・集団行動【キャリア教育】	5	・ 体を動かす楽しさや心地良さを味わう。と共に集団に合わせて行動する力を身に付ける。	定期考査	
5	陸上競技（短距離リレー）	10	・ 陸上競技の技術や行い方を理解する。	ノート 実技テスト 定期考査	
	集団行動 体力テスト	10	・ みんなで一つのことをやり遂げる力を身に付ける。		
6		5	・ 体力テストの行い方、名称、関連する体力などを理解する。	ノート	
7	水泳	12	・ 技術の名称や行い方などを理解し、泳法を身に付ける。	授業観察 実技テスト 定期考査	
9					
10	器械運動(跳箱運動)	6	・ 技ができる楽しさや喜びを味わい、成り立ちや特性等を理解する。	授業観察 ノート 実技テスト	
	保健（健康な生活と病気の予防）	6	・ 生活習慣病等の予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解する。	定期考査	
11	長距離走（陸上競技）	6	・ 自己の記録を向上させるために努力する。		
12	球技(バレーボール)	6	・ ルールの理解、基本的技能の習得とともに勝敗を競う楽し	授業観察 ノート	

月	単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
1	球技(卓球)	6	さを味わう。 ・ 相手側のコートの中をめぐり、空いた場所をめぐり、攻守を展開できるようにする。	定期考査 ワークシート 実技テスト 定期考査	授業内・授業後の振り返り 提出物の提出 3学期学年末考査 グループ活動
	保健(傷害の防止)	9	・ 傷害の発生要因と防止について学習するとともに、応急手当の方法を身に付ける。		
2	球技(サッカー)	9	・ ルールの理解、基本的技能の習得とともに勝敗を競う楽しさを味わう。 ・ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学習する。 ・ 体を動かす楽しさや心地良さを味わう。	授業観察 学習カード 小テスト ワークシート 実技テスト 定期考査	授業内・授業後の振り返り 提出物の提出 グループ活動 3学期学年末考査
	球技(バスケットボール)	9			
	体育理論(運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方)	3			
	体づくり運動【キャリア教育】	2			
合計時数【105】 ※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。					

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法(評価資料)
知識・技能	定期考査、提出物の内容(ノート等)、実技テスト、授業観察等
思考・判断・表現	提出物の内容(ノート等)、定期考査、授業観察等
主体的に学習に取り組む態度	授業観察(授業への取り組み)、提出物の内容(ノート等)等

技術・家庭（技術分野／第2学年）

【教科目標】

<p><エネルギー変換の技術></p> <p>自然エネルギーの利用と変換のしくみを理解し、それに関わる製品の製作をとおして、エネルギーの有効利用する力と態度を育てる。</p> <p><情報の技術></p> <p>コンピュータやネットワークを構成する要素の種類や役割を理解し、それをういてデジタル作品が制作できる力を育てる。</p>

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	エネルギー変換に関する技術	エネルギーの利用について	4	<ul style="list-style-type: none"> 電気エネルギーの変換に関する仕組みを理解し、利用方法を調べる。 発電のしくみについて理解する。 	授業中の観察 提出物 定期考査 振り返り	授業 班活動 教科書の活用 1学期期末考査
5		エネルギー変換を利用した製品の製作	9	<ul style="list-style-type: none"> はんだごての使用方法を習得する。 ラジオの製作を通してエネルギーの変換に関する仕組みを理解する。 電子部品の働きについて理解する。 	授業中の観察 提出物 机間巡視 作品の点検 定期考査 振り返り	授業 班活動 発表 教科書の活用 1学期期末考査
6		電気回路と回路図	3	<ul style="list-style-type: none"> 電気回路の基本的な構成を理解する。 ラジオの回路図の制作をする。 	授業中の観察 提出物 作品の点検 定期考査 振り返り	授業 グループ活動 作業の様子 教科書の科 通用 2学期期末考査
7		電気機器の安全な利用について 回路計の使い方	3	<ul style="list-style-type: none"> 電気機器による事故の防止について確認する。 回路計の使い方について確認する。 	授業中の観察 提出物 机間巡視 作品の点検 振り返り	授業 班活動 教科書の活用 2学期期末考査
9						
10						
11						

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
12	1	オームの法則について	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ オームの法則について理解する。 ・ 合成抵抗について理解する。 ・ 抵抗値の計算を理解し、確認す 	授業中の観察 提出物 作品の点検 定期考査	授業 班活動 発表 教科書の活用 3 学期学年 末考査
2		動力伝達のしくみ、運動を変化させるしくみ	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動力の伝達や運動の変化のしくみや特徴を知る。 ・ 身近な機器にも動力伝達のしくみが使われていることを知る 	授業中の観察 提出物 定期考査 課題レポート 振り返り	授業 グループ活動 作業の様子 教科書の活用 3 学期学年 末考査
3	情報に関する技術	コンピュータの基本的な構成	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータを見て各部の名称、働き、装置の役割について確認をする。 ・ コンピュータの基本操作の確認をする。 ・ 情報モラル（授業の最初で触れる） 	授業中の観察 提出物 机間巡視 作品の点検 定期考査	授業作業の様子 教科書の活用 3 学期学年 末考査
		生活や社会を支える生物育成の技術	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書やプリントを中心として、生物育成の技術と生活との関わりを理解する 	授業中の観察 ワークシート 定期考査 休業中の課題 振り返り	授業 作業の様子 教科書の活用 3 学期学年 末考査
		ワードプロセッサの使い方 インターネットの使い方 表計算 プレゼンテーション	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワードプロセッサの使い方について確認する。 ・ インターネットの使い方について確認する。 ・ エクセルやパワーポイントを使い資料の制作をする。 	授業中の観察 提出物 机間巡視 作品の点検 定期考査 振り返り	授業 教科書の活用 3 学期学年 末考査

合計時数【35】

※ 生徒の学習状況や定着状況により、教材や順序を変更する場合がある。

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法（評価資料）
知識・技能	作品、提出物の内容、定期考査
思考・判断・表現	作品、提出物の内容
主体的に学習に取り組む態度	作品、提出物の内容、授業に対する取組、振返り

技術・家庭（家庭分野／第2学年）

【教科目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

【学習計画】

時期	題材	単元	時数	主な達成目標〈時数〉 (各題材で身に付けてほしい力)	評価方法	評価場面		
1学期	衣食住の生活 (衣生活)	◎適切な衣服選択について考えよう	2	・衣服の保健衛生上の働き、生活活動上の働きについて理解する。 ・衣服の社会生活上の働きを理解し、TPOや自分らしさを大切にした衣服選択について工夫して考える。	・ワークシート ・定期考査	授業 1学期期末考査 提出物		
		◎衣服の手入れについて理解し、実践できるようになる	4	・衣服に関する汚れの種類やそれに応じた適切な手入れの方法について理解する。 ・繊維の特徴を踏まえて、適切な衣服の手入れを理解する。 ・取扱い表示について理解し、衣服や汚れに応じた適切な手入れを実践できるようにする。 ・汚れの落ちる仕組みについて理解し、洗濯について理解を深める。	・ワークシート ・定期考査			
		◎手縫いで生活を豊かにする製作を実践しよう	1 1	・基礎縫いの方法（半返し縫い、まつり縫い）を理解し、実践的な技能を身につける。 ・衣服の補修に必要なボタン付けの技能を身につける。 ・衣類の補修に必要なスナップボタン付けの技能を身につける。 ・手縫いの作品制作に向けて、生活を豊かにする工夫を考え、計画する。 *ティッシュケース製作 ・手縫いの基礎的な技能を活用し、目的に応じて適切な縫い方を使い分けることができる。	・成果物 ・ワークシート ・授業中の 取り組み			
		2学期	衣食住の生活 (住生活)	◎快適な住まいを考えよう	7	・住居の基本的な機能について理解する。 ・住まう人が安全に住むことができる住まいについて理解し、自身ができる工夫について考えを深める。（家庭内事故の予防） ・快適な住まいの環境を作るために必要な要素について理解する。 ・家族の生活と住空間との関わりを理解し、家族全員にとって快適な住まいを作る	・ワークシート ・小テスト ・定期考査 ・授業中の 取り組み	授業 班活動 提出物 被服実習 2学期期末考査

時期	題材	単元	時数	主な達成目標〈時数〉 (各題材で身に付けてほしい力)	評価方法	評価場面		
				工夫について考えを深める。 ・防災の観点から、自然災害に対しても安全に住まうことができる住居の工夫について考える。				
	衣食住の生活 (衣生活)	◎ミシンを活用できるようになる	9	・小学校での学習を踏まえ、ミシンの安全な使い方(正しい姿勢、操作)を理解し、身に着ける。 ・ミシンを使った基礎的な縫い方について、技能を身につける。 *ハーフパンツ製作 ・ミシンを使って、自身の生活を豊かにできる製作を実践する。	・成果物 ・ワークシート ・定期考査	授業 3学期学年末考査 提出物		
◎持続可能な衣生活を考えよう				4			・持続可能な衣生活を営むために、自分自身の生活を振り返り、課題を見つけ、その改善に向けて生活を工夫する。	・ワークシート
合計時数				35				

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価の内容(評価方法)
知識・技能	・題材や授業のめあてに応じて、正しい知識や技術を習得・活用できている (定期考査、実習での作業の様子、作品の完成度) ・安全で丁寧に作業をし、作品や課題の完成に向けて、自分の考えを実現することができる(作品の完成度、ワークシート記入状況)
思考力・判断力・表現力	・提出物(作品やレポート、ワークシートなど)に創意工夫ができている ・被服実習において、生活の中での活用方法を考えた工夫ができている ・授業内での学びを自分の生活に当てはめて考え、自ら生活をよりよくしようとする工夫ができている(ワークシート、発言、発表) ・被服実習において作業を効率よく進めていく工夫ができている
主体的に学習に取り組む態度	・授業での活動や実習に主体的・意欲的に取り組むことができている(発言、発表、実習への取り組み) ・提出物を確実に提出することができる(ワークシート記入状況)

外国語（英語／第2学年）

【教科目標】

1	英語の学習を通して、英語や外国の文化に対する理解を深める。
2	英語を使って、積極的にコミュニケーションを図る。
3	英語を聞くことや英語を話すことなどの基礎的な力を身に付ける。

【学習計画】

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい力)	評価方法	評価場面
4	Unit1 Hajin's Diary	be 動詞の過去形 接続詞 when look ~	13	・ 日記を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。 ・ 出来事や感想などを日記に書くことができる。	日記 定期考査 単元テスト 提出物 観察	授業 掲示物 1学期期末考査
	Daily Life1 電話	This is~. Why don't you ~? Can you ~?	1	・ 電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。	定期テスト 単元テスト	授業 1学期期末考査
5	Unit2 Basketball Tournament	動名詞 to 不定詞の名詞的用法 接続詞 that	11	・ インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。 ・ 意見や考えなどを言うことができる。	スピーキングテスト 定期テスト 単元テスト 提出物 観察	授業 ペアワーク 1学期期末考査
	Daily Life2 ラジオの ニュース	ニュース インタビュー	1	・ ニュースから、必要な情報を聞き取ることができる。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 1学期期末考査
	Active Grammar 1	動名詞 不定詞（名詞的用法）	1	・ 「~すること」の言い方を整理する。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 1学期期末考査
	Unit 3 Plans for the Summer	be going to will if	12	・ メールの用件や、返事が必要なことを読み取ることができる。 ・ 用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書くことができる。	メール形式の作文 定期テスト 単元テスト 提出物 観察	掲示物 授業 1学期期末考査
6	Daily Life 3 アナウンス	空港でのアナウンス	1	・ アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 1学期期末考査

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場面
	Active Grammar 2	be going to will	1	・ 未来のことを伝える言い方を整理する。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 1学期期末 末考査
	Let's Read I The Cookies	既習事項	3	・ 物語を読んで、あらすじを捉えることができる。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 2学期中 間考査
	Daily Life 4 レストラン	Shall I ~? Would you like ~?	1	・ 飲食店で注文することができる。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 2学期中 間考査
	You Can Do It! I 「わが町観光プラン」をおすすめしよう。	既習事項	4	・ 自分の住む町観光プランを立てて、人におすすめできる。	スピーチ 提出物 定期テスト 単元テスト	授業 グループ ワーク 2学期中 間考査
7	World Tour I English Around the World	既習事項	1	・ 世界のいろいろな英語を知る。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 ペアワー ク 2学期中 間考査
	Unit 4 Tour in Singapore	There is ~. / There are ~. Show me Give me to 不定詞の形容詞的用法	13	・ グルメの紹介記事から、必要な情報を読み取ることができる。 ・ 町の名物の魅力が伝わるように、詳しく説明することができる。	スピーチ 定期テスト 単元テスト 提出物 観察	授業 グループ ワーク 2学期中 間考査
9	Active Grammar 3	目的語	1	・ 動詞の後ろにくる言葉を整理する。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 2学期中 間考査
	Unit 5 How Do We Stay Safe?	have to / don't have to must/must not It is ...to...	11	・ 災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取ることができる。 ・ 必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合うことができる。	スピーキン グテスト 定期テスト 単元テスト 提出物 観察	授業 ペアワー ク 2学期期 末考査
	Daily Life 5	May I	1	・ 電車の乗り換えについて	定期テスト	授業

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場面
	電車の乗り 換え	Could you tell me how to		てたずねたり、案内を したりすることができる。	単元テスト 観察	2 学期 期 末 考 査
	Daily Life 6 体調不良	should	1	・ 体調をたずねたり、助 言をしたりすることができる。	定期テスト 単元テスト	授業 ペアワ ーク 2 学期 期 末 考 査
10	Active Grammar 4	助動詞	1	・ 話し手の考えを動詞に 加える言葉を整理す る。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 2 学期 期 末 考 査
	Unit 6 Guide Dogs	to 不定詞の副 詞的用法 接 続 詞 because	13	・ 紹介記事を読んで、お おまかな内容を捉える ことができる。 ・ わかりやすい文章構成 で、紹介記事を書くこ とができる。	紹介記事 定期テスト 単元テスト 提出物 観察	掲示物 授業 2 学期 期 末 考 査
	Active Grammar 5・6	不定詞〈形容詞 的用法・副詞的 用法〉 接続詞	2	・ to+動詞の原形が表す いろいろな意味を整理 する。 ・ 文と文をつなぐ言葉を 整理する。	定期テスト 単元テスト 観察	授業 2 学期 期 末 考 査
	Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru	既習の表現	3	・ インタビュー記事か ら、人物の経歴や思い を読み取ることができる。	定期テスト 単元テスト 観察 提出物	授業 2 学期 期 末 考 査
11	You Can Do It! 誰もが 楽しめるイ ベントを提 案しよう	既習の表現	1	・ 誰にとっても過ごしや すい学校を提案するこ とができる。	観察 提出物 定期テスト 単元テスト	授業 2 学期 期 末 考 査
	Daily Life 7 オンライン ツアー	既習の表現	2	・ オンラインツアーの案 内から、必要な情報を 読み取ることができる。	観察 提出物 定期テスト 単元テスト	授業 2 学期 期 末 考 査
	World Tour 2 Working Around the	既習語 as ~ as ...	1	・ これから世界で活躍し そうだと思う人につい て、調べて紹介するこ	定期テスト 単元テスト 提出物	授業 ペアワ ーク

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場面
	World			とができる。	観察	3 学期 学 年末考査
12	Unit 7 Working Together	比較級, 最上級 as ~ as ...	14 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。 ・ 複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合うことができる。 	定期考査 単元テスト トーキング テスト 提出物 観察	授業 グループ ワーク 3 学期 学 年末考査
	Active Grammar 8	比較表現		・ 何かを比べて説明する言い方を整理する。	定期考査 単元テスト 提出物 観察	授業 3 学期 学 年末考査
1	Unit 8 Performing a Play	Want 人 不定 詞 Make 人・もの 不定詞 受け身	15 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取ることができる。 ・ 意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書くことができる。 	手紙 定期考査 単元テスト 提出物 観察	掲示物 授業 3 学期 学 年末考査
	Active Grammar 8	受け身の文		・ 何かをされていると説明する言い方を整理する。	定期考査 単元テスト 提出物 観察	授業 3 学期 学 年末考査
	World Tour 3	既習の表現		・ 世界のワンダーについて知る。	定期考査 単元テスト 提出物 観察	授業 3 学期 学 年末考査
	Let's Read 3 Emojis	既習の表現		・ 説明文を読んで、大まかな内容を捉えることができる。	定期考査 単元テスト 提出物 観察	授業 3 学期 学 年末考査
	You Can Do It! 3 かるたで地 域の PR をし よう	既習の表現	4	・ 地域の魅力を伝えることができる。	定期考査 単元テスト 提出物 観察	授業 3 学期 学 年末考査
2	Let's Read	既習の表現		・ 紹介文から、食品サン	定期考査	授業

月	単元	小単元・項目 (題材、教材)	時 数	主な達成目標 (各単元でつけてほしい 力)	評価方法	評価場面
3	More 1 Plastic Food Samples			プルの歴史や作成方法 を読み取ることができる。	単元テスト 提出物 観察	3 学期 学 年末考査
	Let's Read More 2 Ainu, My Voice	既習の表現	2	・ ティナのブログから, ティナが伝えたいこと を読み取ることができる。	定期考査 単元テスト 提出物 観察	授業 3 学期 学 年末考査

【通知表の評価の観点と観点別学習状況の評価の方法】

観点	評価方法 (評価資料)	
知識・技能	実際のコミュニケーションの状況において、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを知識・技能を習得し、身に付け活用することができるか評価する。	観察 定期考査 単元テスト 提出物
思考・判断・表現	実際のコミュニケーションの状況において、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを話したり書いたりして表現したり伝えあうことができるか評価する。	観察 定期考査 単元テスト 英作文等課題の内容 スピーチ スピーキングテスト
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかを評価する。	観察 (音読、会話活動への参加の様子、自己表現や発表) スピーキングテスト 振り返りの記述等